

科目名	医動物学 (Medical Zoology)			科目コード	429
開講学科	臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	2 単位 (45時間)
科目区分	専門科目	履修時期	3 年次後期	関連DP	臨③⑤
担当教員	橘 真由美*、鳥居 本美*、細川 翔				
授業概要	寄生虫 (蠕虫、原虫)、衛生動物 (ダニ、昆虫、毒蛇) などを対象とし、形態的特徴、生活史、宿主への感染方法、宿主の防御反応などの基礎知識および各寄生虫疾患に特徴的な症状を教授する。寄生虫症の診断に必要な臨床検査法 (各種集卵法、血清検査、虫卵や虫体の染色法など) の原理を理解させる。実習では、糞便や血液などの検体から寄生虫卵や原虫を検出できる手技を習得させる。また、寄生虫及び衛生動物の成虫・幼虫・虫卵の形態観察を通して生活史や鑑別診断のポイントを理解させる。				
授業目標	病原体である寄生虫および衛生昆虫について、それらの一般的な性状、個々の病原体の生態、感染経路、寄生態様などを学習する。講義および実習を通じて、学生が宿主側の反応と症状、宿主寄生体関係と感染の経過、診断法および感染防御対策などを主体的に学び、寄生虫症の臨床検査を行う際に必要な寄生虫感染症に対する知識、臨床検査手技を習得することを目標とする。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	医動物学総論	寄生虫疾患の流行の現状と特徴、その背景	橘真由美
2	蠕虫類Ⅰ (線虫) (1)	腸管寄生線虫症 (蛔虫、鞭虫、鉤虫、蟯虫)	
3	蠕虫類Ⅰ (線虫) (2)	臓器・組織寄生線虫症 (糸状虫、糞線虫、旋毛虫)	橘真由美
4	蠕虫類Ⅰ (線虫) (3)	幼線虫移行症 (アニサキス、顎口虫、犬蛔虫、犬糸状虫)	
5	蠕虫類Ⅱ (吸虫) (1)	消化管・肝胆道寄生吸虫症 (肝吸虫、横川吸虫、肝蛭)	鳥居本美
6	蠕虫類Ⅱ (吸虫) (2)	住血吸虫症、肺吸虫症	
7	蠕虫類Ⅲ (条虫) (1)	腸管寄生条虫症 (広節裂頭条虫、無鉤条虫、有鉤条虫)	橘真由美
8	蠕虫類Ⅲ (条虫) (2)	幼虫寄生条虫症 (有鉤囊虫、多包条虫、単包条虫、マンソン弧虫)	
9	原虫類 (1)	原虫総論、アメーバ赤痢	橘真由美
10	原虫類 (2)	ランブル鞭毛虫症、クリプトスポリジウム症、臍トリコモナス症	
11	原虫類 (3)	マラリア	橘真由美
12	原虫類 (4)	トキソプラズマ症	
13	原虫類 (5)	トリパノソーマ症、リーシュマニア症、ニューモシスチス肺炎	鳥居本美
14	衛生害虫	衛生昆虫、ダニ、シラミ、蛇毒	
15	検査法総論	寄生虫検査法 (糞便検査法)	橘真由美 細川翔
16~17	検査法各論 (実習) (1)	線虫類 (1)	
18~19	検査法各論 (実習) (2)	線虫類 (2)、吸虫類	
20~21	検査法各論 (実習) (3)	条虫類、原虫類 (1)	
22~23	検査法各論 (実習) (4)	原虫類 (2)、衛生動物	
成績評価方法	講義・実習終了後、筆記試験を行う。講義・実習の範囲から出題し、筆記試験の結果を80%、実習ノートおよび講義・実習への参加態度等を20%に配点して評価する。		
教科書	吉田幸雄・有園直樹・山田稔「医動物学」(南山堂)		
参考図書等			
授業時間外の学習について	授業時間外の学習の進め方について、予習・復習が必要な場合は、準備学習の内容や必要時間等を書く。		
関連科目			
備考	第15回の検査法総論は実習室で行う。		